

発泡スチロール箱を使った生ごみ処理

■用意するもの

- ・発泡スチロール箱（深めのもの）
- ・水切りかご（食器かご）
- ・腐葉土その上に軽く土をかける（米ぬか、醗酵促進剤でも可）。
- ・新聞紙等

■容器の作り方

- ①発泡スチロール箱の中に水切りかごを入れる。
- ②底に新聞紙等を広げて敷く。
- ③腐葉土を入れる。

※おがくずがあれば腐葉土に混ぜる。かごの目が荒い場合は金網等を敷く。ハエなどの発生を防ぐためにフタに網などをかけると良い。

■生ごみの処理方法

- ①生ごみに腐葉土をまんべんなくまぶし、生ごみが見えなくなるまで腐葉土を被せる。
※4~5日すると容器の中の温度が高くなり白いカビが発生する。
- ②生ごみが出る都度、これを繰り返す。
- ③容器が一杯になったら、約1ヵ月熟成させる。
※空気が行き渡るように、ときどきかき混ぜる。
- ④醗酵を促進させるには米ぬかや醗酵促進剤をかけると良い。

■堆肥の回収

できあがった堆肥は、半分取り出し、残りはまた、生ごみを混ぜ込んで使う。

取り出した堆肥は、土づくりに使うほか、生ごみに混ぜる腐葉土の代わりに使える。